Kodak Scan Station 700 Plus シリーズスキャナー

Scan Station 730EX Plus

ユーザー設定



目次

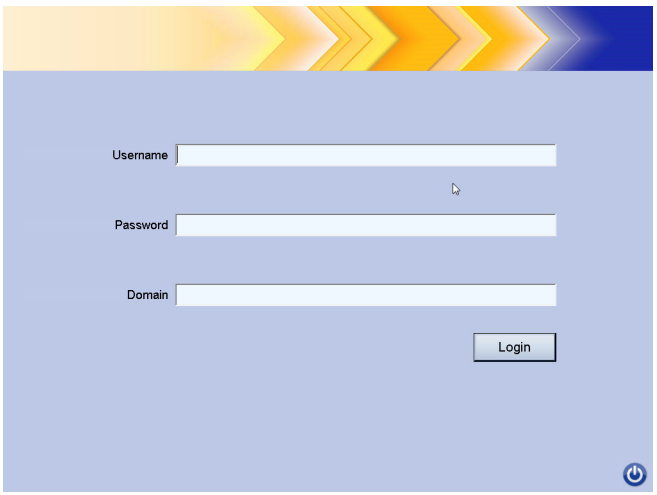
スキャンステーションでユーザー設定を構成 1
スキャンステーションへのログイン 1
スキャンステーションの電源を切る 1
タッチスクリーン構成 2
タッチスクリーンの使用 4
[保存先] 画面 4
アイコンの説明：[保存先] 画面 5
[設定] 画面 6
スキャン設定 6
[スキャン設定] オプション 7
[ファイル名の設定] オプション 7
[スキャン方法] オプション 9
[ファイルタイプ] オプション 10
[ドキュメントの入力方法] オプション 12
[解像度] オプション 12
[ドキュメントタイプ] オプション 13
[白黒調整] オプション 14
[詳細] オプション 15
重送キャリブレーション 22
[ステータス] オプション 22
[情報] オプション 22
スキャンステーションの使用 23
その他スキャンオプション 24
[スキャンオプション] 画面 24
スキャン前の [処理レビュー] 画面 25
スキャン後の [処理レビュー] 画面 28
[設定レビュー] 画面 29
検索機能の使用 30

スキャンステーションでユーザー設定を構成

このドキュメントには、Scan Station 700 Plus Seriesのタッチスクリーンを使用するための情報と手順が記載されています。

スキャンステーションへのログイン

スキャンステーションの設定状況により、ログインが要求される場合があります。この場合、以下の画面が表示されます。

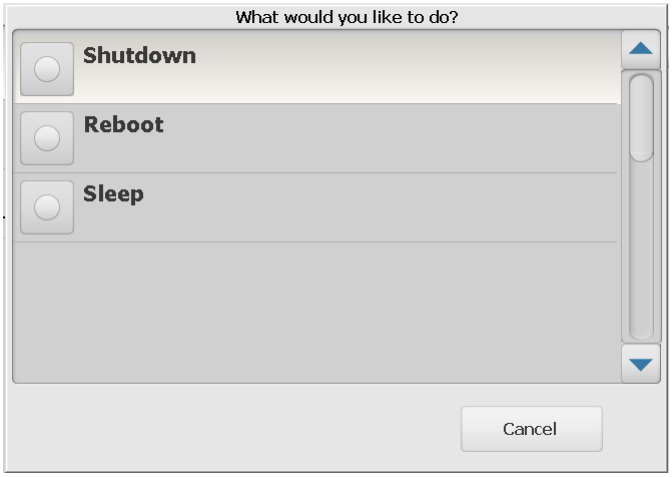


1. **[ユーザ名]**、**[パスワード]** および **[ドメイン]** を入力します。
2. **[ログイン]** をクリックします。

スキャンステーションの電源を切る



電源アイコンは、ほとんどの画面にあります。電源アイコンが青色（アクティブ）の場合、アイコンをクリックしてスキャンステーションをシャットダウンします。次の画面が表示されます。



注：ログインした状態は、ビジーであるとみなされます（ログインしている場合は、スキャン中であると考えられます）。赤色の X を選択してログアウトし、電源ボタンを選択して（青色に変わった場合）シャットダウンします。

タッチスクリーン構成

Kodak Scan Station 700 Plus シリーズは、簡単にアクセスして操作できるタッチスクリーンを提供します。

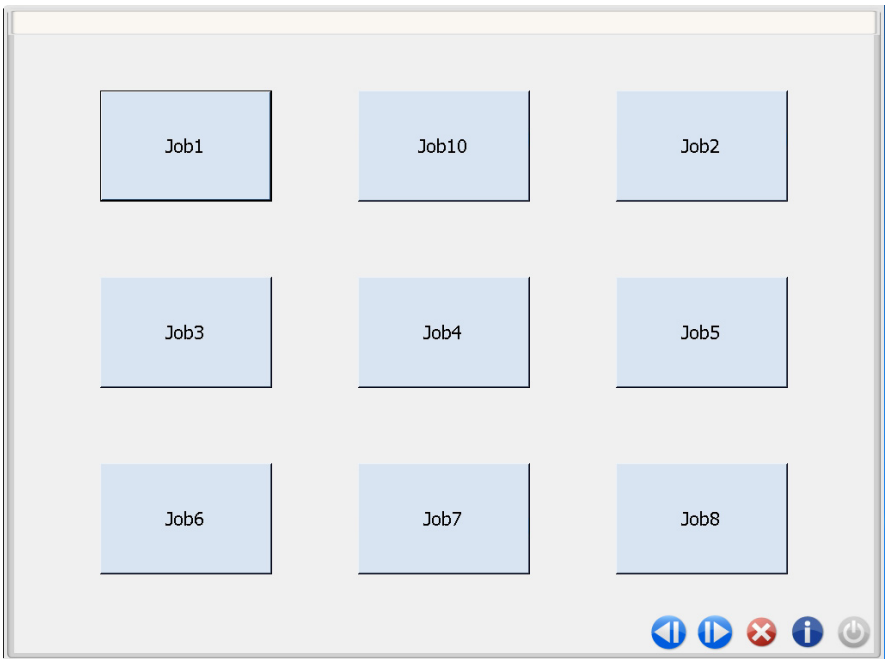
スキャンステーションは以下のように設定できます。

- ジョブのみ
- ジョブなし、ユーザー独自の設定

スキャンステーションの設定方法：

1. **ジョブのみ**：タッチスクリーンには管理者が設定したジョブのリストが表示されます。これらのジョブは変更できません。タッチスクリーンが以下のように表示されていれば、入力トレイに原稿をセットして使用するジョブを選択するだけです。

   注：ジョブ選択できない場合は、次のメッセージが表示されます。***あなたに割り当てられたジョブはありません。ご質問がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。***

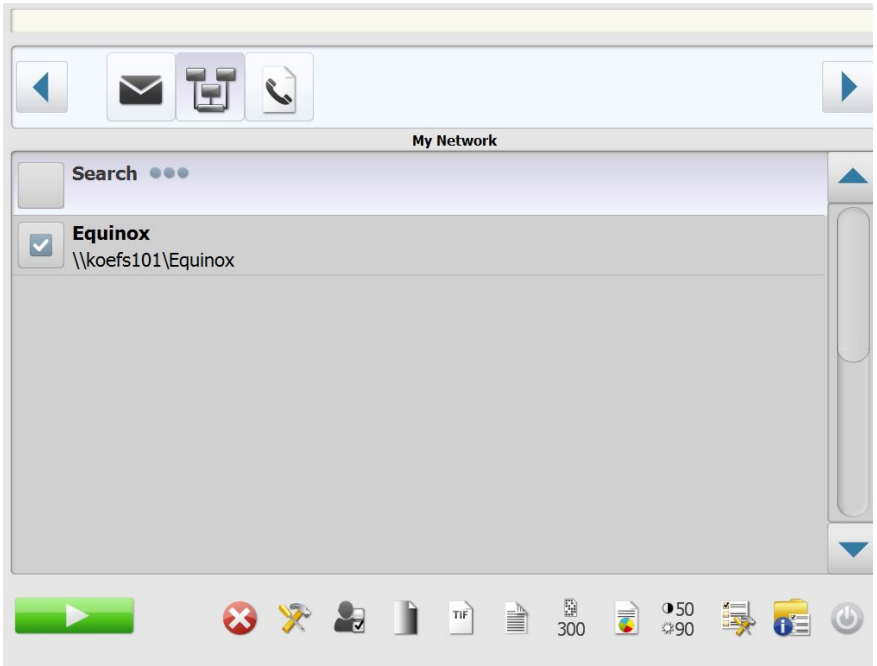


アイコンの説明

	前の画面に移動。
	次の画面に移動。
	スキャンステーションからログオフします。
	スキャンステーションの情報を表示します（バージョン番号など）。
	電源アイコンが青色の場合、クリックしてスキャンステーションをオフにします。 ログインしている場合は、ビジー状態であるとみなされます（管理者が **[ユーザーログインの強制]** を有効化）。電源をオフにするには、「X」アイコンを選択し、ログイン画面で電源アイコンを選択します。

Kodak *Scan Station 700 Plus Seriesのユーザーリファレンスガイド* には、スキャンジョブに関する詳細情報が記載されています。

2. **ジョブなし、ユーザー独自の設定**：タッチスクリーンにはデフォルトのジョブが表示されます。さらに、管理者が設定したジョブが表示される場合もあり、設定や保存先の画面ではユーザー独自のジョブが設定できます。詳細については、「[保存先] 画面」ページの 4 および 「[設定] 画面」ページの 6 を参照してください。



注：

- 設定を変更した場合は、現在のスキャンセッションに**限り**、変更が有効になります。

- 保存先が設定されていない場合は、タッチスクリーンに何も表示されない場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

タッチスクリーンの使用

次のセクションでは、ジョブが定義されていない場合にユーザー独自の設定手順などが説明されています。

タッチスクリーンには **[設定]** 画面と **[保存先]** 画面の 2 つのメイン画面があります。

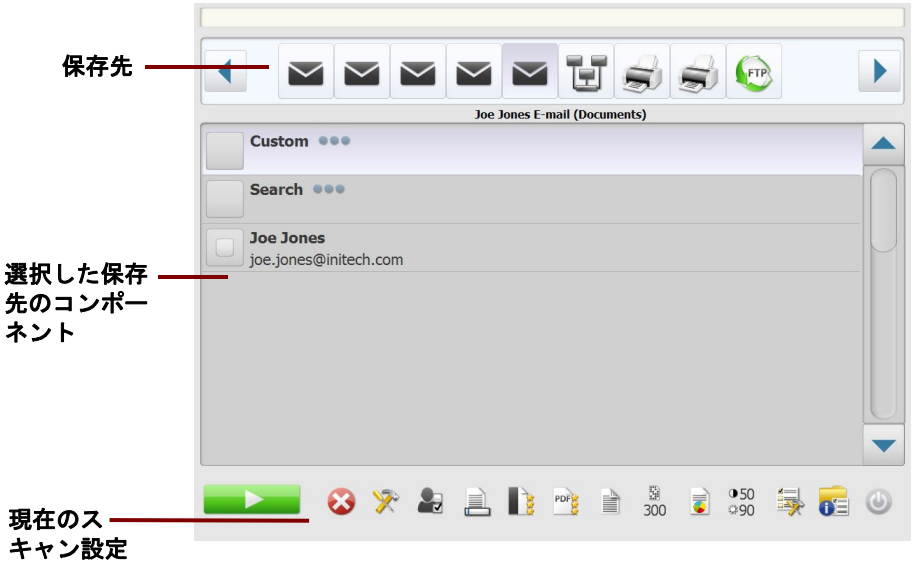
	**スキャン** — ジョブをスキャンする時に選択します。
	**設定** — [設定] 画面と [保存先] 画面を切り替えます。
	**ログオフ** — Scan Station からログオフします。

[保存先] 画面

[保存先] 画面には、管理者が設定した保存先が表示されます。利用可能な保存先は次のとおりです。**電子メール**、**USB メモリ**、**ネットワーク**、**FTP**、**プリンタ**、**FAX への電子メール**、**SharePoint**、および **Kofax Front Office Server**。左右の矢印ボタンでスクロールして使用できる保存先を表示します。

保存先を選択すると、画面の中央部分に、詳細、設定、保存先に関する内容のいずれかが表示されます。たとえば、E メールアイコンを選択すると、保存先にあるすべての E メールアドレスが表示されます。このリストから希望のアドレスが選択できます。リストにアドレスがない場合は、**[カスタム]** を選択します。キーボードが表示され、e- メールアドレスを入力できます。

注： スキャンステーションが E メールアドレスの入力を許可されていない場合、**[カスタム]** オプションは表示されません。



[保存先] アイコン下部の [設定] ボタンの右側のアイコンは、次の原稿をスキャンするときに使用する、現在の設定を示します。この設定を変更する場合は（原稿をカラーではなく白黒でスキャンする場合など）、[設定] アイコンを押して [設定] 画面に移動するか、または該当するアイコンを選択すると設定をすばやく変更できます。

注：

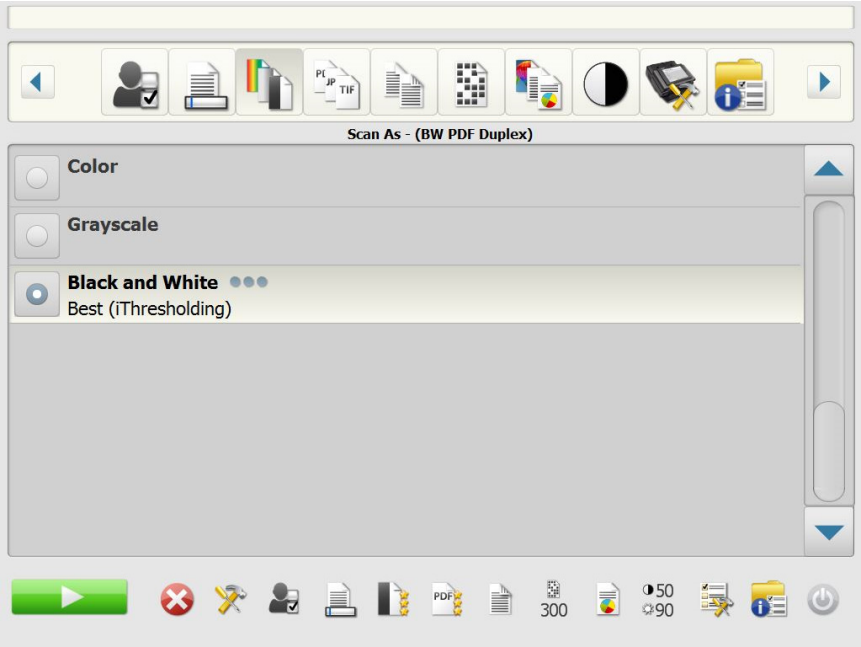
- **検索** オプションに関する詳細については、「検索機能の使用」ページの 30 を参照してください。
- スキャンステーションの設定状況により、デフォルト設定を変更できない場合があります。

アイコンの説明：[保存先] 画面

[保存先] 画面のアイコン	
アイコン	説明
	**左矢印** — 現在の保存先のリストを左にスクロールします。
	**Eメール** — 使用できるEメールアドレスのリストを表示します。
	**FAXへのEメール送信** — LAN FAXサーバーにファイルをEメールで送信後、FAX に送信します。
	**ネットワークフォルダ** — 使用できるネットワークフォルダのリストを表示します。
	**FTP** — 使用できる FTP アドレスのリストを表示します。
	**プリンタ** — 使用できるプリンタのリストを表示します。
	**USB メモリ** — USB メモリを挿入してこのアイコンを選択すると、USB メモリを保存先にできます。
	**SharePoint** — SharePoint 設定をセットアップできます。
KOFAX	**Kofax Front Office Server** — Kofax Front Office Server 設定をセットアップできます。
	**右矢印** — 現在の保存先のリストを右にスクロールします。

[設定] 画面

[設定] 画面には、スキャン設定のアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、該当するスキャン設定がリストに表示されます。これらの設定は、スキャン中の原稿に対してデフォルトと異なる設定を必要としていない限り、変更の必要はありません。



スキャン設定

[設定] 画面にアクセスするには、**[設定]** アイコンをクリックします。以下は、スキャン設定の詳細情報です。

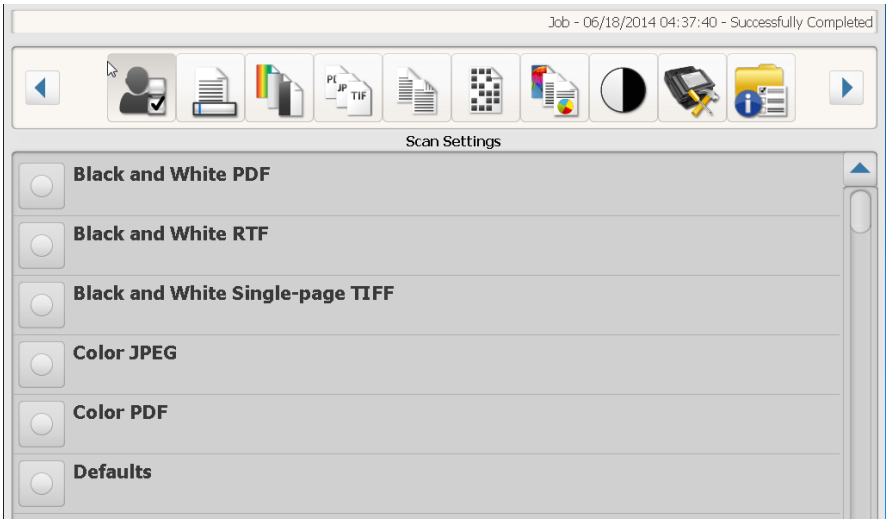
右 または **左**矢印を使用して、[スキャン設定] のリストをスクロールします。

スキャンを開始するには**スキャン**アイコンを選択します。

[スキャン設定] オプション



[スキャン設定] — デフォルトのスキャン設定は、管理者がセットアップしたスキャン設定です。

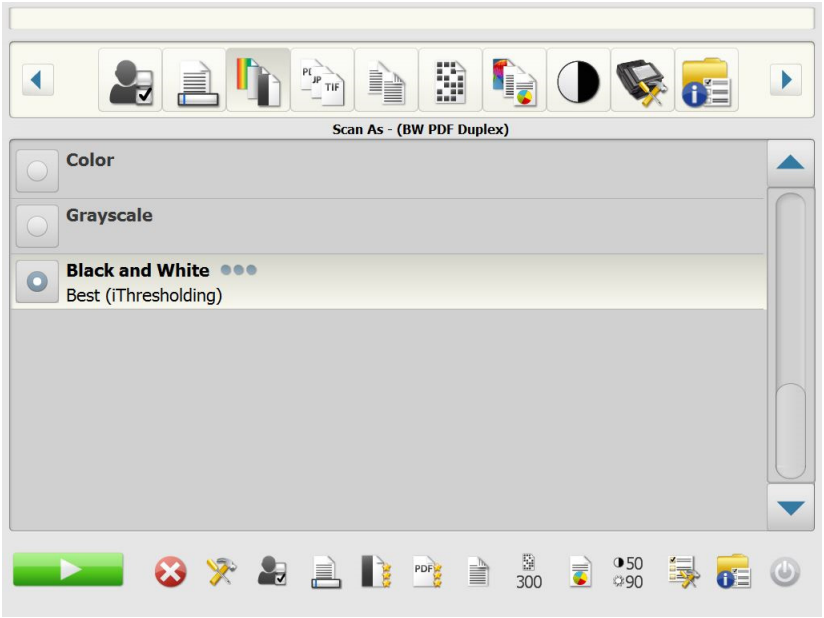


[ファイル名の設定] オプション



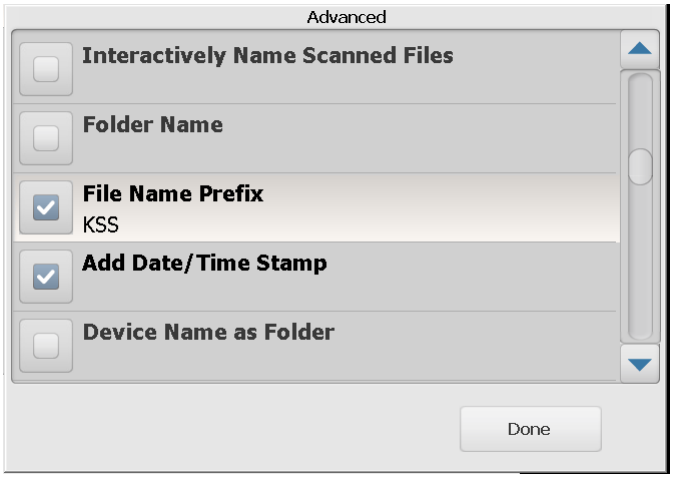
[ファイル名の設定] では、スキャンイメージ作成時にファイルの保存場所（ディレクトリまたはサブディレクトリ）とファイル名を定義できます。スキャンイメージを保存する [フォルダ名] をネットワークフォルダ、FTP、USB メモリなどに定義できます。すべてのスキャンイメージに適用する [ファイル名の固定文字] も定義できます。スキャンイメージは通常、この固定文字を付けて名前が付けられます。また必要に応じて日付と時刻が固定文字に付加されます。たとえば、固定文字 *[receipts]*、フォルダ名 *[2012]* を定義した場合、スキャンイメージのファイル名は、*「receipts_20120117_092219.tif」* となり、*「2012」* という名前のフォルダに保存されます。

注：システム管理者が、**[ファイルネーミングの許可]** を有効にしていない場合、このオプションは使用できません。



設定で定義されたファイル名フォーマットを使用する — 管理者が設定したファイル名フォーマットを使用する場合、このオプションを選択します。

詳細 — 以下のオプションを 1 ～複数選択できます。

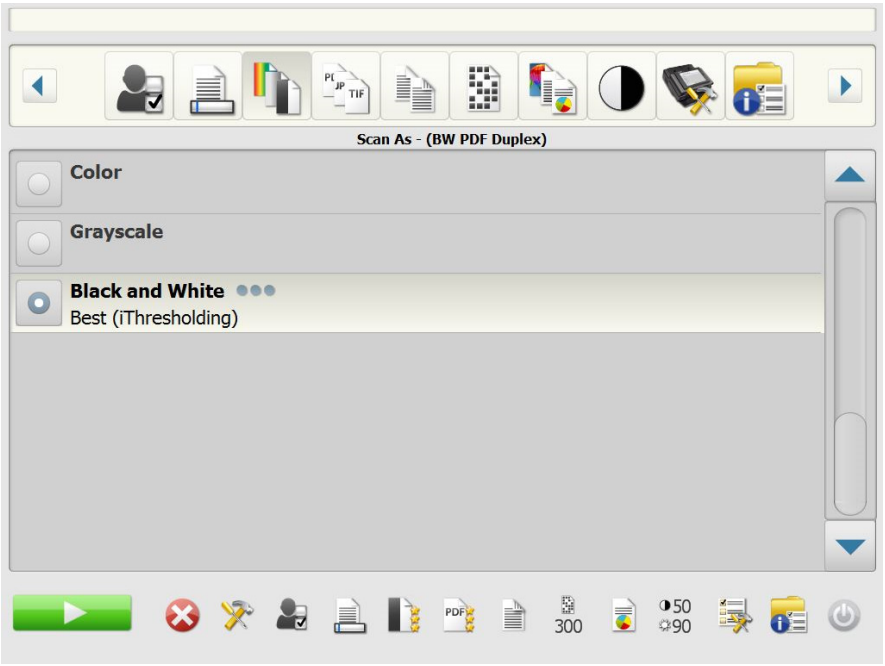


- **スキャン処理中のファイルネーミングの許可** — 選択すると、スキャンイメージ毎にファイル名の入力を要求されます。*ファイルタイプ* として **[JPEG]** または **[シングルページ TIFF]** を選択した場合、スキャン原稿、読取り面毎に入力を要求されます。
- **フォルダ名** — スキャンイメージを保存するネットワークフォルダ、FTP、USB メモリのフォルダ名を入力します。フォルダ名を空欄にすると、ファイルは設定された保存先のルートディレクトリに保存されます。
- **ファイル名の固定文字** — ファイル名として使用する固定文字を入力します。この固定文字は、日付、時刻、該当するファイル拡張子（.pdf、.jpg、.tif など）と共に付加されます。ファイル名の固定文字を設定しない場合、デフォルトの固定文字が使用されます。
- **日付 / 時刻を付加** — デフォルトでは、スキャンステーションが日付と時刻をファイル名に付加します。このオプションを無効にした場合、ファイル名固定文字と選択したファイルフォーマットの拡張子が使用されます。
- **デバイス名をフォルダとして使用** — 有効にすると、スキャンイメージはスキャンステーション名のフォルダに保存されます。このフォルダは保存先として指定されたパスの下に作成されます。
- **デバイス名を固定文字として使用** — 有効にすると、はスキャンステーション名で始まるファイル名で保存されます。
- **セパレータを省略** — 有効にすると、ファイル名の固定文字またはフォルダ名の一部に設定しない限り、ファイル名またはパスの間に下線を入れません。

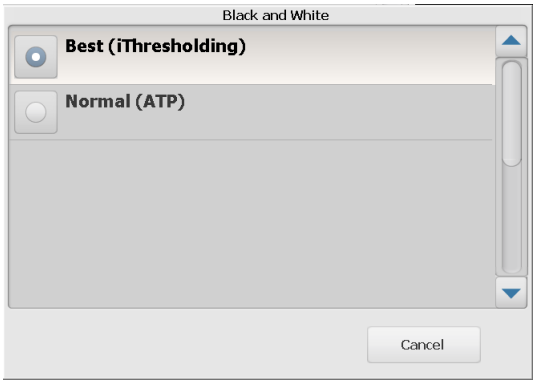
[スキャン方法] オプション



スキャン方法 — カラー、グレースケール、白黒が選択できます。



[白黒] を選択すると、[白黒] 画面が表示されます。**[ベスト（iThresholding）]** または **[ノーマル（ATP）]** のいずれかを選択します。

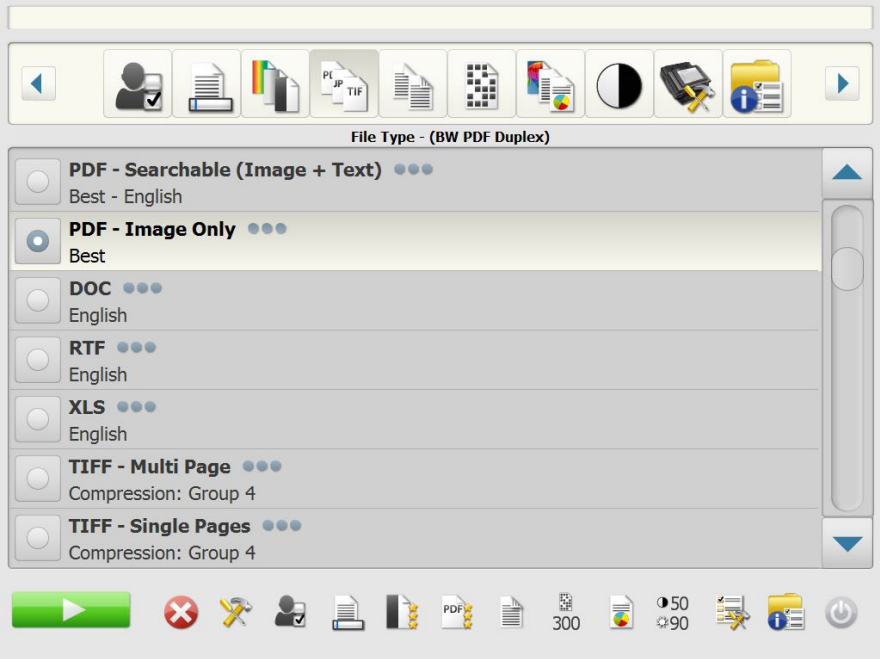


- **ベスト (iThresholding)** — スキャンステーションが各原稿を動的に評価して最適なしきい値を決定するので、良好な画質が得られます。このため、単一の設定で濃度が異なる原稿（文字のかすれ、影のある背景、カラーの背景など）もまとめてスキャンでき、原稿仕分けの手間を省略できます。**ベスト (iThresholding)** を選択した場合、[白黒] 画面では *コントラスト*のみ調整できます。
- **ノーマル (ATP)** (Adaptive Threshold Processing) — 画像の前景情報（文字、図、線など）を背景情報（白または用紙の背景）と区別します。**ノーマル (ATP)** を選択した場合、[白黒] 画面では *しきい値* と *コントラスト*の両方を調整できます。

[ファイルタイプ] オプション

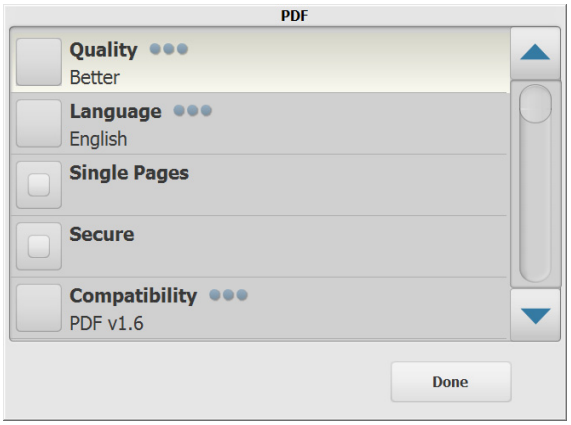


ファイルタイプ — PDF - サーチャブル（画像 + テキスト）、PDF - 画像のみ、DOC、RTF、XLS、JPEG、TIFF - マルチページ、TIFF - シングルページが選択できます。



注： サイズの大きいファイルは保存先へのダウンロードに時間がかかり、サイズ制限のために保存できない場合があります（例：TIFF の非圧縮はサイズが大きくなります）。

- **PDF - サーチャブル（画像 + テキスト）** と **PDF - 画像のみ** — テキストと画像データ、または画像データのみの単一イメージファイルまたは複数ページのイメージファイルを作成します。いずれかのファイルタイプを選択すると、以下の画面が表示されます。



注： **[PDF - 画像のみ]** を選択した場合、**[言語]** オプションは使用できません。

この画面から、PDF ファイル作成のオプションを選択できます。

- **品質**：[品質] 画面を表示します。**[標準]**、**[高]**、**[最高]** が選択できます。品質が高いほど、ファイルサイズは大きくなります。
- **言語**：サーチャブル PDF を生成する際に使用する言語を選択できます。
- **シングルページ**：スキャンイメージごとに PDF ファイルを作成できます。両面原稿の場合、ファイルは表と裏のイメージで作成されます。
- **セキュリティ**：パスワードを入力できます。送信前にファイルを暗号化するために使用されます。**E メール** が送信先に選択された場合、別の E メールでパスワードを送信します。
- **互換性** :PDF バージョンのオプション：**PDF/A、PDF v1.3、PDF v1.4、PDF v1.5、PDF v1.6** または **PDF v1.7** を選択します。

- **DOC** — Microsoft Word 文書を作成します。
- **RTF** — リッチテキスト形式のファイルを作成します。
- **XLS** — Microsoft Excel スプレッドシートを作成します。

  注： DOC、RTF、XLS を選択した場合、*言語* オプションが表示されます。ファイルの生成に使用する言語を選択します。

- **JPEG** — このオプションは、*[スキャン方法]* で **[カラー]** または **[グレースケール]** を選択した場合に使用できます。[JPEG] では、表面と裏面の複数のファイルを作成します。[JPEG] を選択すると、**[ドラフト]**、**[標準]**、**[高]**、**[最高]**、**[高品質]** を品質として選択できます。
- **TIFF - マルチページ** — スキャンされたすべてのイメージを単一の TIFF ファイルとして保存します。**[なし]** または **[Group 4]** のいずれかの圧縮方法を選択できます。
- **TIFF - シングルページ** — 両面スキャンされた読取り面毎に 1 ファイルに保存し、複数のファイルを作成します。**[なし]** または **[Group 4]** のいずれかの圧縮方法が選択できます。

注：

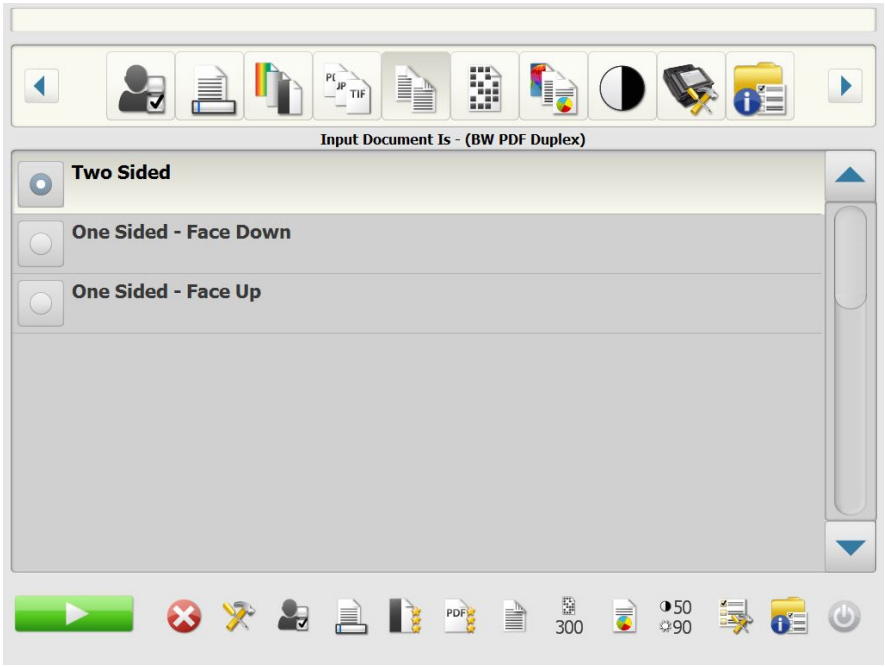
- カラー / グレースケールの TIFF 原稿では、**[なし]** または **[JPEG]** の圧縮方法が選択できます。白黒スキャンの場合は、**[なし]** または **[グループ 4]** のいずれかの圧縮が選択できます。
- すべての電子メールからの FAX のドキュメントは、白黒、Group 4 圧縮の TIFF 画像として配信されます。

[ドキュメントの入力方法] オプション



[ドキュメントの入力方法] — スキャンする原稿のタイプに応じて以下のいずれかのオプションを選択します。

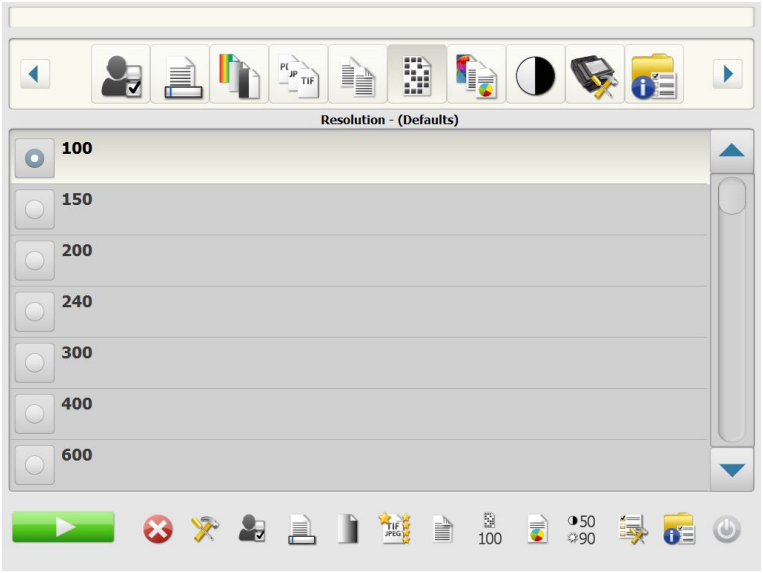
- **[両面]** — 原稿の表面と裏面を同時にスキャンします。
- **[片面] - 下向き** — このオプションを選択した場合、原稿を入力トレイに下向き（スキャンしたい面を入力トレイに向けて）にセットします。
- **[片面] - 上向き** — このオプションを選択した場合、原稿を入力トレイに上向き（スキャンしたい面を自分に向けて）にセットします。



[解像度] オプション



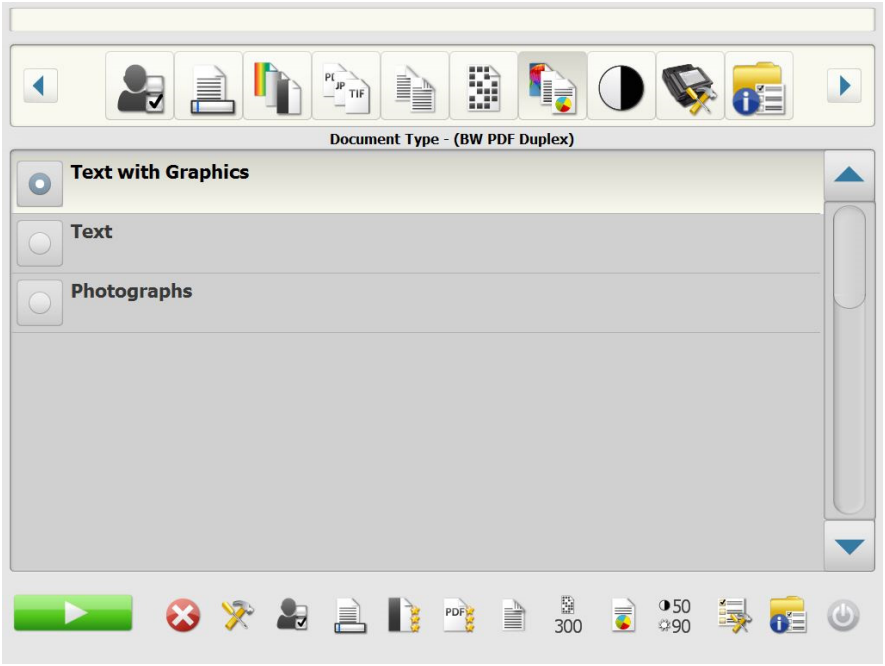
解像度（ドット / インチ）— スキャンの解像度を選択します。この設定は PDF ファイルには影響しません。100、150、**200、240、300、400、600 dpi が選択できます。**解像度が高いと画像品質が良くなりますが、ファイルサイズも大きくなります。



[ドキュメントタイプ] オプション



ドキュメントタイプ — 原稿の内容を選択します。



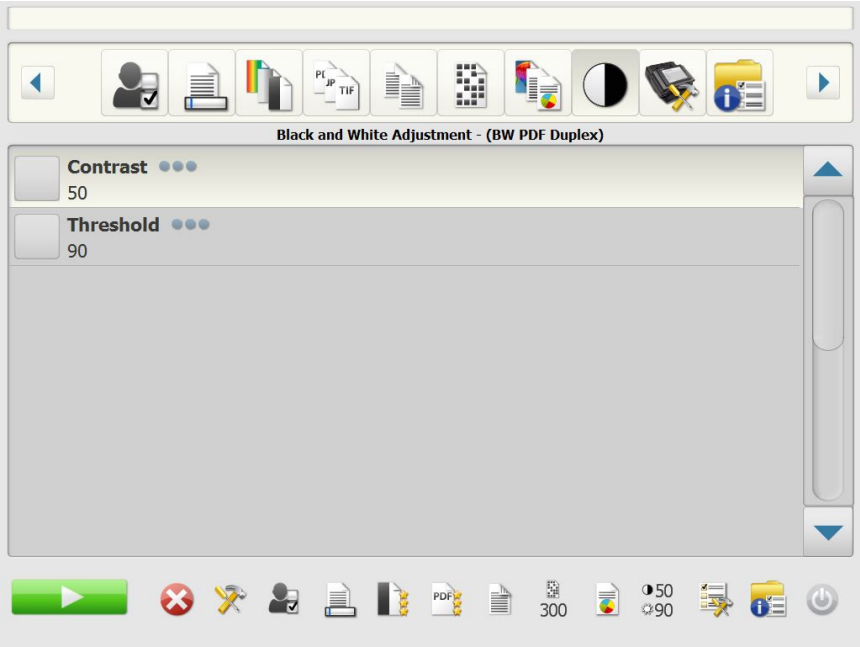
- **文字と図形**：文書、図形（棒グラフ、円グラフなど）、線画などが混在している原稿の場合に選択します。
- **テキスト**：文字原稿の場合に選択します。
- **写真**：写真が主体の場合に選択します。

[白黒調整] オプション



白黒調整 — **[コントラスト]** と **[しきい値]** の値を変更できます。*このオプションは、[スキャン方法] で **[白黒]** を選択した場合に使用できます。*

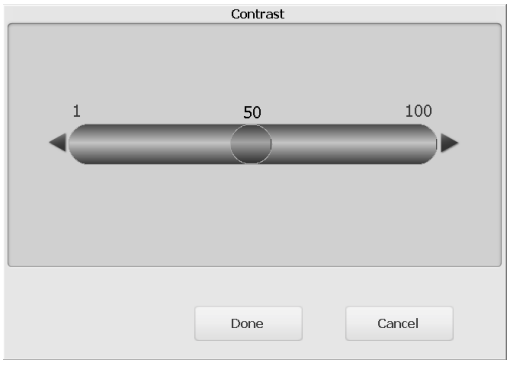
- *[スキャン方法]* 画面で **[ベスト (iThresholding)]** を選択した場合は、コントラスト値のみ変更できます。
- **[ノーマル (ATP)]** を選択した場合は、コントラストとしきい値が変更できます。



コントラスト — 維持または軽減されている画像の前景のコントラストを調整します。この設定を下げると、場合によっては文字のかすれた部分が消え、ノイズを軽減します。この設定を上げると、文字のかすれた部分を鮮明にし、ノイズが発生しやすくなります。

しきい値 — グレースケール画像を白黒画像に変換します。しきい値の範囲は 0 ～ 255 です。デフォルト値は 90 です。しきい値が低いと、画像が明るくなり、背景を抑えて不要な細かい情報を除去できます。しきい値が大きいと、濃い画像が生成され、淡い部分も再現できます。

1. **[コントラスト]** または **[しきい値]** を選択すると、[コントラスト]（またはしきい値）画面が表示されます。

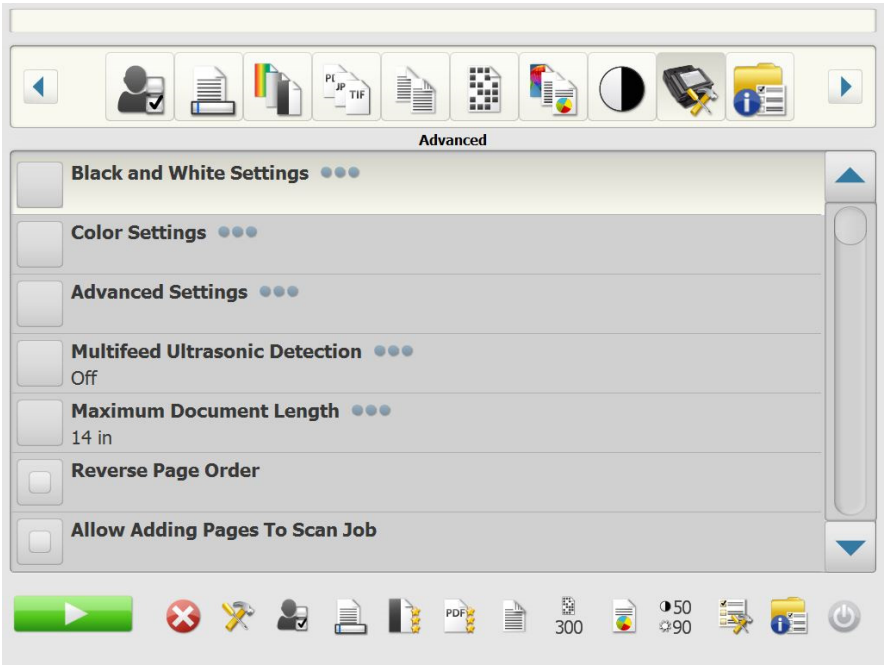


2. **左右**の矢印を使用して値を調整し、**[完了]** をクリックして値を保存します。

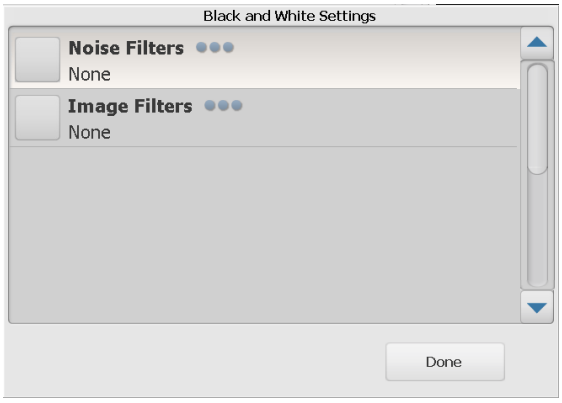
[詳細] オプション



[詳細] 画面ではさまざまなオプションが設定できます。

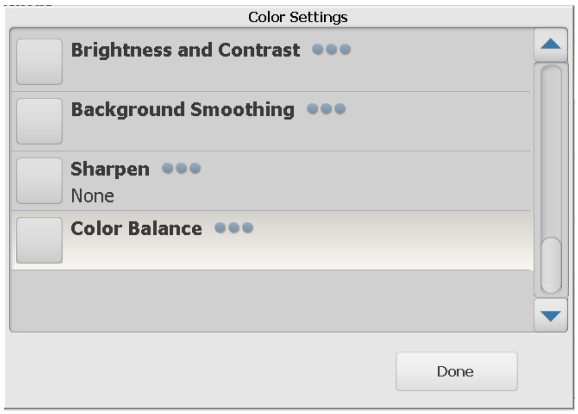


- **白黒設定** — 以下のオプションがあります。



  - **ノイズフィルタ** : **[なし]**、**[孤立 ピクセル]**、**[マジョリティ ルール]** が選択できます。
    - **孤立ピクセル** - 白ピクセルで完全に囲まれている単一の黒ピクセルを白に変換するか、黒ピクセルで完全に囲まれている単一の白ピクセルを黒に変換してランダムノイズを減らします。
    - **マジョリティルール** - 各ピクセルをその周辺全域のデータに基づいて設定します。周辺のピクセルの大部分が白の場合、ピクセルは白になり、黒の場合は黒になります。
  - **画像フィルタ** : **[なし]** または **[ハーフトーン除去]** が選択できます。[ハーフトーン除去] では、ハーフトーン画面でドットマトリクステキストと画像の見栄えを良くします（新聞の写真など）。

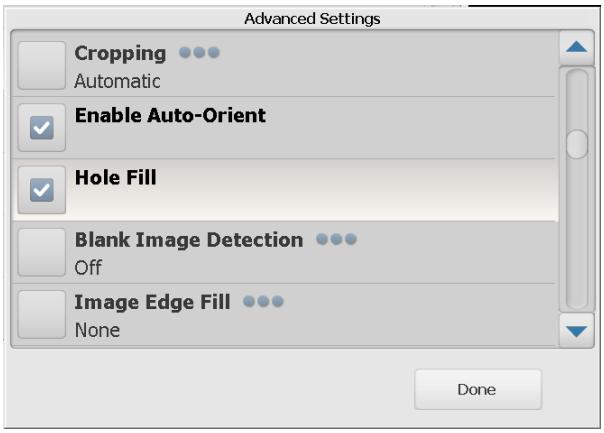
- **カラー設定** — 以下のオプションがあります。



  - **明るさとコントラスト**：以下が選択できます。
    - **カラー明度モード** - **[なし]**、**[自動]**、**[手動]** が選択できます。**[自動]** を選択した場合、使用する値はスキャンステーションが選択します。**[手動]** を選択すると、明度とコントラスト値を設定できます。
      - **明度** - カラー / グレースケールイメージ中の白の量を変更します。値の範囲は 1 ～ 100 です。
      - **コントラスト** - 明暗ピクセルの差を調整します。
  - **背景のスムージング**：背景色のある書類や記入フォームにこのオプションを使用すると、画像の背景色はより均一になります。このオプションを利用すると、イメージ品質を向上しながら、ファイルサイズを軽減できます。以下が選択できます。
    - **背景のスムージングモード** - **[なし]**、**[自動]**、**[自動 - 詳細]** が選択できます。
      - **自動** - 背景色を 3 色までスムージングします。
      - **[自動 - 詳細]** - **[自動]** オプションを詳細に調整する上級者向けのオプションです。このオプションを選択すると、[背景のスムージング] 画面で [強度] オプションが使用できます。
        - **強度**：強弱を調整して背景を決定できます。値の範囲は -10 ～ 10 です。
  - **鮮明さ**：画像内のエッジコントラストを強調します。
    - **なし**
    - **標準**
    - **高**
    - **強調**

- **カラーバランス**：このオプションは *[スキャン方法]* 設定が **[カラー]** に設定されている場合のみ使用できます。
  - **カラーバランスモード** - **[なし]**、**[自動]**、**[自動 - 詳細]**、**[手動]** が選択できます。
    - **[自動]** - 原稿の白い背景を純白に調整します。このオプションを使用すると、用紙ごとの厚さやブランドの違いによる白の差異を補うことができます。写真への使用はお勧めしません。
    - **[自動 - 詳細]** - **[自動]** オプションを詳細に調整する上級者向けのオプションです。
    - **強度**：選択した場合、**[自動 - 詳細]** の強度を調整できます。値を大きくすることで、古くなって黄ばんだ原稿に対応できます。値の範囲は -2 ～ 2 です。
    - **[手動]** - イメージに適用させる特定の値を設定できます。
      - **赤**：カラーイメージ中の赤の量を変更します。値の範囲は 1 ～ 100 です。
      - **緑**：カラーイメージ中の緑の量を変更します。値の範囲は 1 ～ 100 です。
      - **青**：カラーイメージ中の青の量を変更します。値の範囲は 1 ～ 100 です。

- **詳細設定** — 以下のオプションがあります。



  - **クロッピング**：[**自動**] または [**アグレッシブ**] クロッピングのいずれかを選択できます。
    - **自動** - イメージ枠を自動的に検出し、傾き補正します。
    - **高画質** - イメージ枠を自動的に検出し、傾き補正します。さらに、イメージの端に残った黒枠を消去します。この場合、原稿の端のイメージデータが一部失われる可能性があります。

- **自動回転を有効にする**：有効にすると、スキャンステーションは原稿の方向を分析して、イメージを正像に回転します。

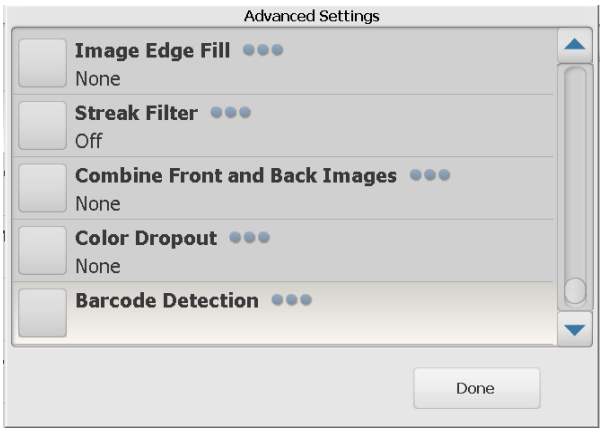
- **パンチ穴除去**：原稿の端の周囲にある穴を埋めることができます。埋められる穴のタイプは、丸、長方形、不定形（例、二重穴が開いている、またはバインダーからドキュメントを取り外した際に発生した多少の裂け目など）。

- **白紙イメージ検知**：白紙ページ（書類の裏面など）を検出して自動で削除します。デフォルトは 1% です。指定値未満のイメージは削除されます。

- **イメージの端を埋める**：最終的な画像の端の領域を、選択した色で埋めます。
  - **なし**
  - **自動** - スキャナーはイメージの端を周囲の色で自動的に埋めます。
  - **自動 - 破れも含める** - 端を埋める以外にも、原稿の端周辺の裂け目も埋めます。
  - **白：イメージの端を白で埋めます。**
  - **黒：イメージの端を黒で埋めます。**

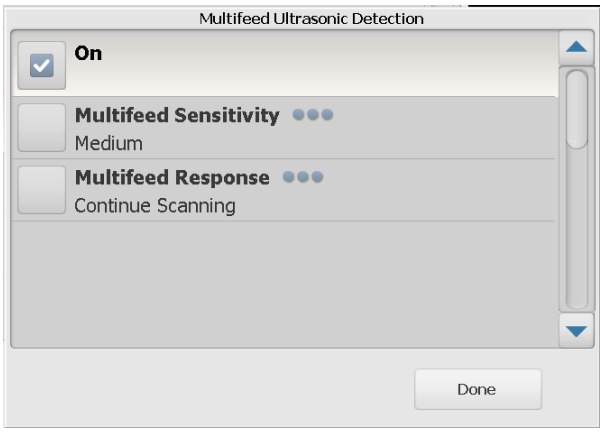
  注：**[白]** または **[黒]** を選択した場合、[イメージ端埋め] 画面では、**[上]**、**[下]**、**[左]**、**[右]** の各オプションが使用できます。[上]、[下]、[左]、[右] を選択すると、値の入力メニューが表示され、埋める量を指定できます。[イメージ端埋め] を使用する場合、入力値は大きすぎないように注意してください。必要なイメージデータを埋めてしまう可能性があります。

スクロールバーの矢印を使用して、他の [詳細] 設定を表示します。



- **縦縞フィルタ**：スキャンステーションを設定して、画像から縦縞を除去できます。縦縞とは、原稿には存在しないにもかかわらず、イメージに現れることがある線のことです。縦縞は、原稿上の不純物（汚れ、ホコリ、傷など）が原因で発生するか、推奨の清掃手順に従わないことで発生する場合があります。**[縦縞フィルタ]** をクリックしてこのオプションを有効にし、強度を選択することで、除去する縦縞の度合いを調整できます。値の範囲は -2 ～ 2 です。
- **表面と裏面のイメージを組み合わせる** — 通常では、1 枚の原稿につき、表面のイメージと、裏面のイメージが生成されます。原稿の表面と裏面を 1 つのイメージに合成する場合、このオプションを有効にします。以下が選択できます。
  - **なし**
  - **表面を上**：表面を裏面の上に配置します。
  - **表面を下**：表面を裏面の下に配置します。
  - **表面を左**：表面を裏面の左に配置します。
  - **表面を右**：表面を裏面の右に配置します。

- **カラードロップアウト**：記入フォームの背景を消去するために使用します。その結果、画像には記入された情報のみ残ります（例：記入フォームの線やボックスを削除する）。白黒画像の場合、これらの設定は、Scan Station が文書を分析して生成するグレースケール版の電子画像に影響を与えます。
  - **カラー** - ドロップアウトする色を選択します。
    - **なし**
    - **マルチ**：濃い色合い（黒や濃紺のインクなど）以外の色をドロップアウトします。
    - **主色**：メインの色をドロップアウトします。
    - **青：青色をドロップアウトします。**
    - **緑：緑色をドロップアウトします。**
    - **赤：赤色をドロップアウトします。**
  - **強度**：ドロップアウトする色の程度を調整できます。値の範囲は -2 ～ 2 です。デフォルトは 0 です。このオプションは、*[カラー]* が **[マルチ]** または **[主色]** に設定されている場合のみ使用できます。
- **重送検知** — 原稿が重複して給紙される状態を超音波センサーが検知します。重送は、ホチキスで綴じられた原稿、粘着物や静電気が原因で発生することがあります。スキャンステーションで重送を検知する場合は、**[オン]** を選択します。



注： このオプションが有効で原稿の重送が検知された場合、警告音が鳴ります。スキャンされたイメージを確認して、正しいことを確認します。必要に応じて再スキャンします。

- **重送感度**：スキャンステーションに重送検知の感度を設定します。重送は原稿間のすきまを検出して識別します。そのため、厚さの異なる原稿が混在している場合でも、重送を検知できます。
  - **低**：低い設定で、ラベルを貼った原稿、紙質の悪い原稿、皺がある原稿を重送として認識する可能性が最も低くなります。
  - **中**：厚さが異なる原稿や、ラベルが貼られた原稿をスキャンする場合に使用します。ラベルの材質にもよりますが、大部分のラベルは重送とは認識されません。
  - **高**：最もレベルが高い設定です。この設定は、すべての原稿が 20-lb. 以下の紙厚など、厚さが同じ原稿をスキャンする場合に適しています。

注： 設定の内容に関係なく、「貼付された」メモは重送原稿として検知されます。

- **重送検知時の動作**：重送を検知した場合の動作を選択します。いずれのオプションでも、状況はスキャンステーションに記録されます。
  - **スキャンの停止**：スキャンを停止して、重送を修正することができます。搬送路に原稿が残っていないことを確認し、スキャンを継続してください。
  - **スキャンの続行**：重送を検知してもスキャンを継続します。

注： スキャナーが繰り返し誤った重送を示しているか、スキャンしようとしたときに「不明な TWAIN エラー」を報告している場合、超音波重送検知キャリブレーションを実行する必要がある場合があります。（「重送キャリブレーション」ページの 22 を参照）

- **最大原稿長**（インチ）— ジョブにおける最長の原稿サイズを設定できます。スキャンステーションがこの値よりも長い原稿を検知した場合、紙詰まりが発生したと判断します。デフォルト値は 14 インチ (35.56 cm) です。最長は 160 インチ (406.40 cm)、最短は 2.5 インチ (63.5 mm) です。

- **ページ順序を反転** — 有効にすると、スキャンした原稿の順序に対してイメージの順序を反転します。このオプションは、複数ページの原稿のみ適用されます。

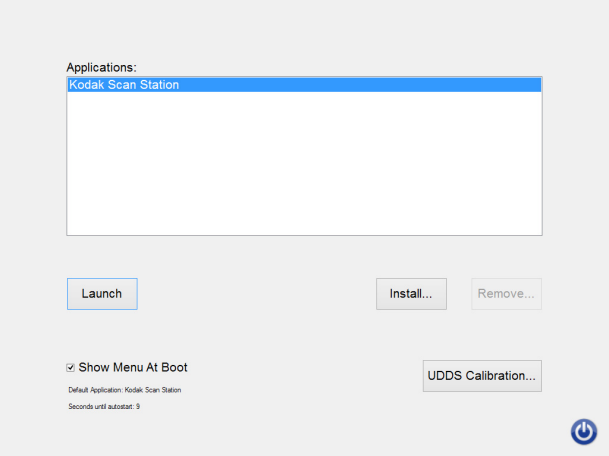
- **スキャンジョブへのページの追加を可能にする** — 有効にした場合、スキャンジョブに原稿を続けて追加できます。入力トレイ内の原稿がすべてスキャンされると、原稿を追加するか確認するメッセージが表示されます。**[はい]** を選択すると追加スキャンを開始します。**[いいえ]** を選択するか、30 秒後にタイムアウトになるまで同じメッセージが繰り返し表示されます。

- **印刷部数** — 印刷する部数 (1 ～ 99) を選択します。

重送キャリブレーション

重送キャリブレーションを実行するには：

- スキャナーをシャットダウンします。
  - スキャナーディスプレイのタッチスクリーンの電源ボタンを押します。
  - *[Shutdown]* を選択します（スキャナーディスプレイの右側にある電源ボタンが赤に変わります）。
- スキャナーの電源が完全にオフになったら（電源ボタンのランプが消えます）、スキャナーの電源を入れ直します。
- 白紙の用紙を給紙トレイに装填します。A4 サイズ 75 ～ 80g/m^2 またはレターサイズ 20 ポンドのボンド紙を縦向きで使用します。



- スタートアップ画面が表示されたら、*UDDS Calibration* を選択します。

注： スキャナーは、給紙がない場合、10 秒後に自動的に起動します。この場合は、手順を最初からやり直してください。

- *[Apply]* を選択します。
- キャリブレーションが完了すると、「UDDS Calibration Succeeded」がスキャナー画面に表示されます（キャリブレーションが成功しない場合は、サービスに連絡してください）。
- *[Done]* を選択します。
- *[Launch]* を選択すると、スキャナーが初期化されます。

[ステータス] オプション



ステータス画面では、スキャンステーションの現在の状態に関する情報が表示されます。

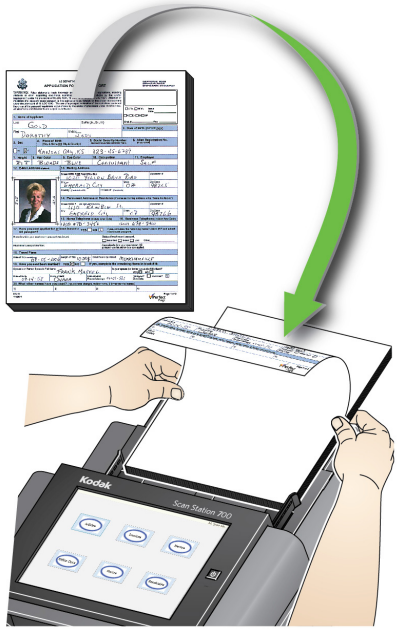
[情報] オプション



[情報] 画面には、ソフトウェアのバージョン情報、MAC アドレスおよび IP アドレスが表示されます。

スキャンステーションの使用

1. スキャンする原稿を入力トレイにセットします。



注：

- スキャンステーションの設定状況により、ユーザー名、パスワード、ログインするドメインの入力が要求される場合があります。
- メッセージ「***お待ちください、ランプのウォームアップ中です***」が表示されることがあります。ウォーミングアップが完了すると、原稿が給紙されます。

2. スキャンステーションの設定状況により以下を実行します。
   - スキャンステーションが**ジョブのみ**に設定されている場合、スキャンするジョブを選択します。
   - Scan Station が**設定の変更が可能なジョブ**に設定されている場合、[設定] アイコンをタッチし、[スキャン] 設定に対して必要な変更を行い、希望する保存先を選択します。続いて手順 3 に進みます。

3. スキャンアイコン  を選択します。

注：スキャンステーションの設定状況により、***「追加でスキャンするページがありますか？」***というメッセージが表示される場合があります。**[いいえ]** を選択するか、30 秒後にタイムアウトになるまで、スキャンセッションに原稿を続けて追加できます。

その他スキャンオプション

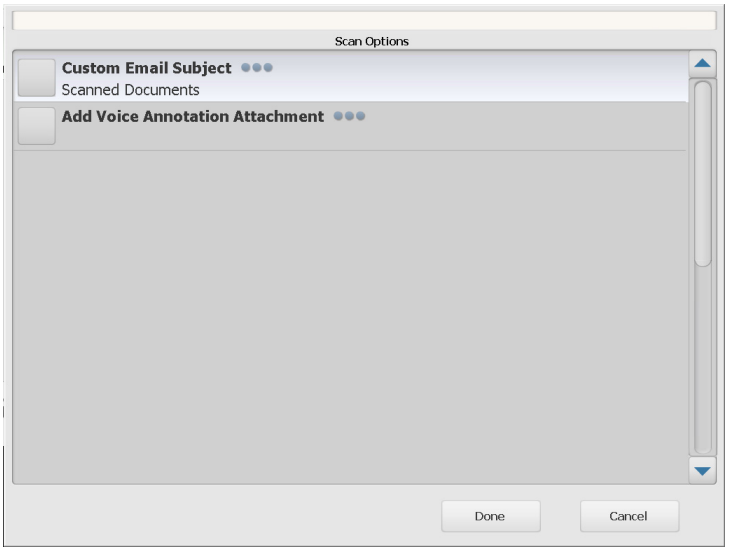
スキャンステーションは様々な形に設定できるため、一部のオプションは管理者により許可される場合もあれば、スキャンイメージをプレビューできる画面や保存先をレビューできる画面が表示される場合もあります。

この章では表示される可能性があるその他のオプション（画面）を説明します。

[スキャンオプション] 画面

スキャンステーションの設定状況によって、スキャン前に [スキャンオプション] 画面が表示される場合があります。以下の 1 ～複数のオプションが選択できるか、いずれのオプションも選択できない場合があります。

- 希望するオプションを選択して、**[完了]** をクリックします。



  - **E メール件名のカスタマイズ**：このオプションを選択すると、E メールの件名を自由に入力できます。
  - **PDF のセキュリティ用パスワード**：PDF ファイルの暗号化と保護に使用するパスワードを入力できます。
  - **ユーザーファイル名の入力**：ファイル名の一部になるテキストを入力できます。このオプションは、ジョブが入力用にセットアップされた場合に表示されます。
  - **ファイル名の固定文字**：ファイル名の固定文字を変更できます。このオプションは、**[スキャン処理中のファイルネーミングの許可]** が有効になっている場合のみ表示されます。
  - **音声注釈添付の追加**：E メール、FTP、ネットワークフォルダ、USB メモリの保存先にスキャンイメージの添付ファイルとして音声メッセージを追加できます。**[音声注釈添付の追加]** を選択すると [音声添付のオプション] 画面が表示され、**[録音]** を選択してメッセージを録音できます。**[レビュー]** を選択すると録音したメッセージを再生でき、**[削除]** を選択すると録音したメッセージを削除できます。
  - **バックグラウンド処理通知の E メールアドレス** — ジョブの完了通知を受信者に E メールで送信できます。

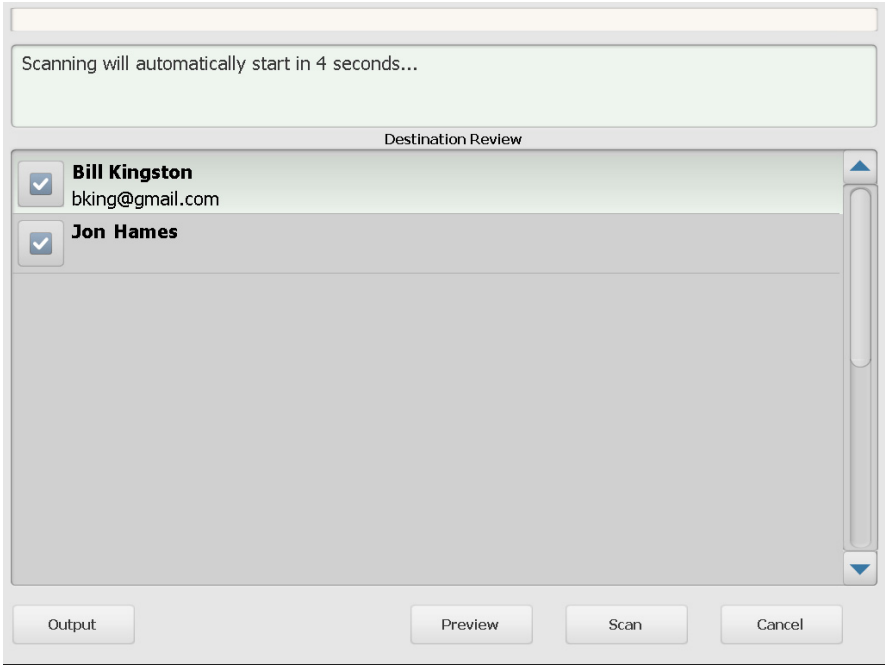
- **SharePoint™ インデックスフィールドの変更を許可**：既存の SharePoint インデックスフィールドを変更できます。
- **Kofax Front Office Server インデックスフィールドの変更を許可**：既存の Kofax Front Office Server インデックスフィールドの変更できます。
- **電子メール送信先**：ジョブに設定されている現在の電子メール送信先を表示できます。また、Active Directory を使用して電子メール送信先を追加できます。ジョブに設定されたすべての電子メール送信先は、最初は選択解除されています。

スキャン前の [処理レビュー] 画面

[処理レビュー] 画面では、スキャン前に設定を確認できます。

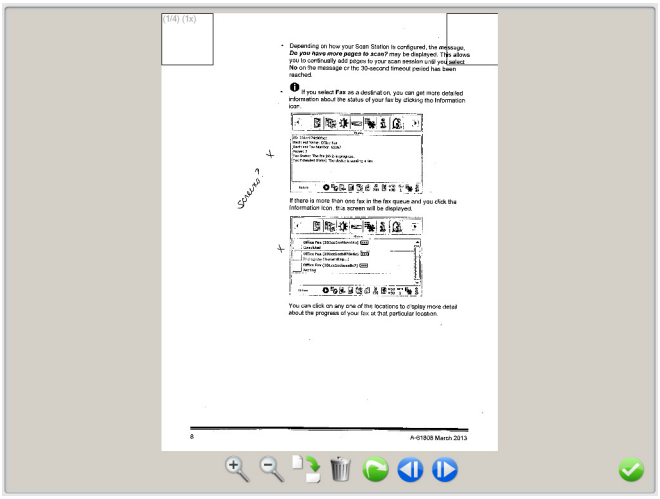
注：Scan Stationが**FASTスキャン**用に設定されている場合：

- ユーザー入力でファイル名を付けるジョブの場合、ファイル名の一部を入力するように求められます。
- 即時にスキャンを開始し、エラーがない限り [処理レビュー] 画面は表示されません。



出力 / 終了 — **[出力]** を選択すると、現在のスキャン設定を示す [設定レビュー] 画面が表示されます。詳細については、「[設定レビュー] 画面」ページの 29 を参照してください。

プレビュー — [プレビュー] を選択すると、スキャンを開始し、[ステータス] 画面にスキャン原稿毎に（表と裏）のイメージが表示されます。原稿がすべてスキャンされると [プレビュー] 画面が表示され、各イメージの確認と編集が可能です。





イメージを拡大します。
イメージをダブルクリックすると、部分的にイメージを拡大できます。



イメージを縮小します。



イメージを右回りに 90 度回転します。



表示イメージを削除します。



表示イメージを再スキャンできます。



前のイメージを表示します。
イメージの左側に沿って指をスライドしても、前のイメージを表示できます。

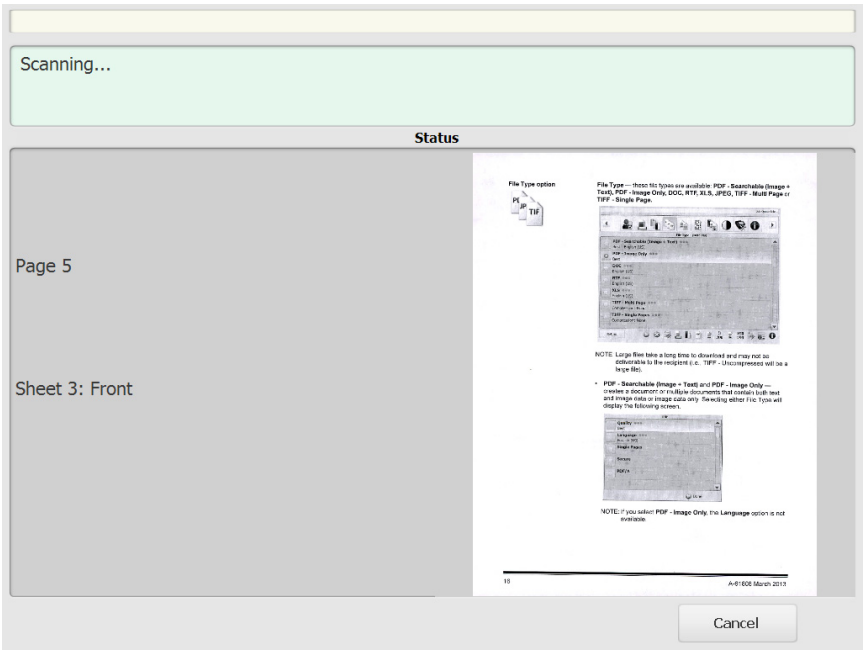


次のイメージを表示します。
イメージの右側に沿って指をスライドしても、次のイメージを表示できます。



[プレビュー] 画面を閉じます。

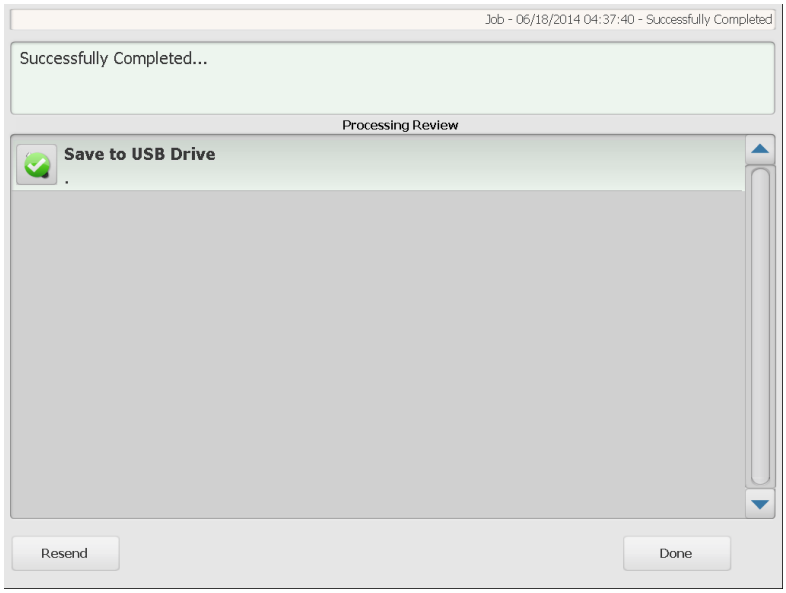
スキャン — スキャンを開始します。原稿の給紙や処理中にイメージが [ステータス] 画面に表示されます。完了すると [処理レビュー] 画面が表示されます。



キャンセル — ***「現在の選択を削除しますか？」***というメッセージが表示されます。続ける場合は **[はい]** をクリックします。メイン画面が表示されます。

スキャン後の [処理レビュー] 画面

原稿がすべてスキャンされると、選択した各保存先にイメージを送信したことを示すステータスが [処理レビュー] 画面に表示されます。



各保存先には緑のチェックマーク（成功）か、赤の「x」（失敗）が表示されます。各保存先を選択すると、その他ステータス情報が表示されます。

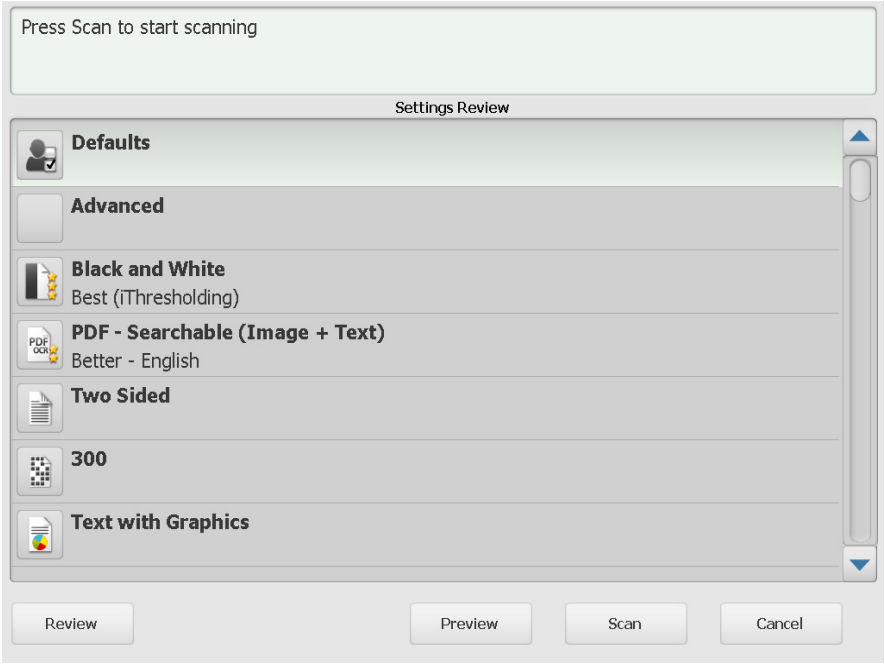
再送信 — 選択すると、***「以前スキャンしたドキュメントを新しく選択した送信先に送ります。」というメッセージが表示されます。続行しますか？***以前スキャンしたイメージを再スキャンしないで再送信する場合は、**[はい]** をクリックします。

完了 — 選択すると ***「現在の選択を削除しますか？」***というメッセージが表示されます。

- **[いいえ]** を選択すると保存先とスキャン設定は次のスキャンジョブでも使用できます。
- **[はい]** を選択すると、保存先とスキャン設定はスキャンステーションのデフォルトに戻ります。
- この画面を無視すると、スキャンステーションは 2 分後に画面がリセットされます。

[設定レビュー] 画面

[処理レビュー] 画面で **[出力]** を選択すると、[設定レビュー] 画面が表示され、設定の確認や変更ができます。



レビュー — [処理レビュー] 画面に戻ります。

プレビュー — 原稿スキャン完了後に [プレビュー] 画面を表示します。[プレビュー] 画面では編集ツール（回転、再スキャン、削除）が使用できます。

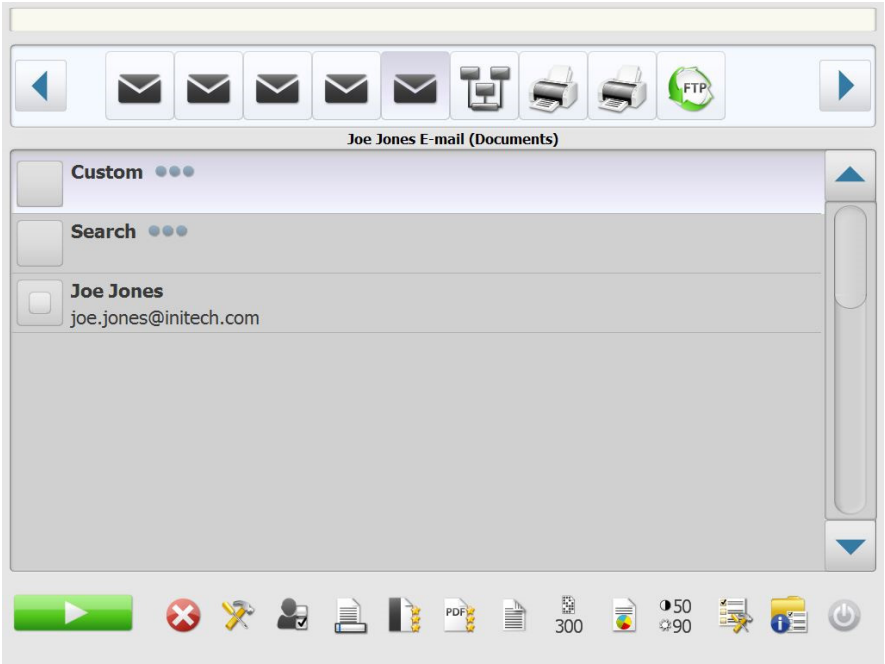
スキャン — スキャンを開始します。原稿の給紙や処理中に、イメージが [ステータス] 画面に表示されます。完了すると [処理レビュー] 画面が表示されます。

キャンセル — ***「現在の選択を削除しますか？」*** というメッセージが表示されます。続ける場合は **[はい]** をクリックします。メイン画面が表示されます。

検索機能の使用

特定の e- メールグループ / ネットワークアドレスブックで e- メールアドレスを検索する場合や、ネットワークフォルダを検索する場合も、手順は同じです。

1. 検索する **[E メール]** グループか **[ネットワークフォルダ]** グループを選択します。



2. **[検索]** を選択してキーボードを表示します。
3. 検索条件を入力します（例 : E メールアドレスの名前、パス名、ネットワークフォルダのパス名の一部）。検索条件に一致するリストが表示されます。

   注 : 管理者が Active Directory サーバを設定している場合は、[その他] ボタンが表示されます。**[その他]** をクリックして、他の一致条件があるか確認します。

4. グループに追加する名前またはネットワークフォルダを選択します。
5. 完了したら、**[完了]** をクリックします。

使用されているすべての商標および
商号は、各保有者の所有物です。

コダックの商標およびトレードド
レスはイーストマンコダック社の
許可を受けて使用しています。

© 2019 Kodak Alaris Inc.
TM/MC/MR: Alaris